

## 出席報告

会員数	計算に用いた 会員数	出席	出席率	前々回の修正 出席率
56名	50名	41名	82.00%	100%

欠席者 小林・前野・松田・望月・小笠原・尾形・白鳥・堤・若林 以上9名

他RCへの出席者 白鳥・若林(11/12沼津西) 以上2名

## こんにちは、ようこそ

ゲスト (株)高橋製作所 代表取締役 高橋正様  
ビジター 根上陽一君(御殿場)

## おめでとう

結婚記念日 前野克己君 1978.11.18  
谷川 治君 1976.11.23  
入会記念日 若林庸道君 1995.11.21

## スマイルボックス

名取賢吉君:妻の誕生日のお祝いありがとうございます。  
谷川 治君:結婚記念日のお祝いありがとうございます。  
山本倫弘君:吉野支店長、卓話宜しくお願ひします。  
坂倉儀郎君:休会が続いてしまいました。  
関 一弘君:本日より親睦委員に所属させていただきます。  
よろしくお願ひ致します。

## 卓話

### イニシエーションスピーチ 吉野日出夫君

平成21年6月末に関電工静岡支店長として赴任し、8月より皆様のお仲間入りをさせて頂きました吉野でございます。どうぞ宜しくお願い致します。



私は昭和34年生まれ、満50歳です。埼玉県熊谷市で生まれ育ち、同じ埼玉県の北本市に住んでおりましたが、今回の辞令により初めての単身赴任を致しました。性格的には、明朗・明るいと言えます。家族は妻と小学生の娘一人で、妻の男親も同居しております。趣味は、今はスキーとゴルフであります。

小学・中学・高校まで、地元 熊谷の学校に通いました。少年時代は、ソフトボールと夏には水泳を選抜メンバーとしてやっておりました。高校は熊谷商業高校でして、当時は野球と卓球の強い学校でした。大学は法政大学経営学部でございます。私が1年の時、4年生に江川選手がおりましたことから、東京6大学野球での優勝の喜びを味わうことが出来、神宮・神楽坂界隈を皆で騒ぎまわったことを懐かしく思っております。

さて、会社に入ってから申し上げますが、昭和56年入社時の配属は埼玉支店で、商業高校出身のため経理担当となりました。昭和58年に本社の経理部に転勤となり、平成14年7月に群馬支店の管理部長として異動するまでの19年間、みっちり会計・税務に携わりました。18年7月から21年6月末までは前職の電力本部総括部長を担当し、配電・工務の電力系工事の収支・人事・労務に携わりました。

これらの中で、特に経理部時代は、時間・量・専門性等で大変ハードでありました。ただ、そのハードさを他部門の方々にはなかなか理解してもらえず、やるせない気持ちになったりもしました。不思議なもので、今思うと懐かしく思え

すし、きつかったですが良い経験だったなとも思えます。

会計では、折しも昭和の後半から目まぐるしく経済社会が変化し、経済取引が国境を越え海外にまで拡がり、各国企業を比較する際には、世界的に共通するルールに基づいて作成された財務諸表が必要との認識が高まり、いつまでも日本だけが固有の独自ルールを押し通す訳に行かず、様々な会計制度改革が行われた時でして、そこにバブル崩壊も加わり、その対応に追われ、極めて多忙な時を過ごしました。

なお、経理というと地味・頑固・堅い、そして単に「たしてひいて」をしているだけという見方の方が多く、それなのに何故毎日のように遅くまで仕事しているのか?仕事が遅いのでは?といった見方をされがちでして、私はそれが非常に残念でならず、よく、他部署の先輩・上司に対して、我々経理は最後の砦であるという認識のもと仕事をしているということや、日常業務のほかに専門性を高める努力と高めた上での会計士・税理士・国税調査官への対応、他部署・支店からの相談対応、情勢の変化・法・制度改革にスピード感を持って対応しなければならない部署だという、理解活動をして回りました。

これらの経験の中で、何事においても楽な道・近道はなく、一つ一つの積み重ねが大きな成果・結果となって現れるものだと、つくづく実感致しました。従って、好きな言葉も「日々は精進」「七転八起」「止まない雨はない」などです。なお、一番好きな言葉で、自分にも言い聞かせている言葉は「やって見せ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」でございまして、正に言い得て妙だと思っており、実践して行かねばと思っております。

色々申し上げましたが、伝統ある沼津北ロータリークラブの一員として、品格・品位がにじみ出ますよう努力して参りたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

(卓話要約)